

憲法違反の「共謀罪」の衆院本会議採決強行に抗議し、廃案を求める

2017年5月23日 日本平和委員会

自民、公明の与党と日本維新の会が衆院本会議で、国民多数の反対の声に背を向け、「内心」を処罰対象にする「共謀罪」法案の採決を強行したことに、断固として抗議する。

この法案は、審議をすればするほど人権を侵害する危険な中身が明らかになり、国民の不安と懸念が広がって、今国会で成立させる必要はないという声は、どの世論調査でも多数を占めるに至っている。世論に背を向け、野党の抗議も無視して委員会質疑を一方的に打ち切り採決を強行した、自公と維新の責任は極めて重大である。思想・良心の自由を脅かす憲法違反の悪法を、民主主義を破壊する強引な手法でおしそすめる安倍政権の暴走は絶対に許されない。

この法案は、犯罪が起こっていない段階でも2人以上が犯罪を「計画」し「準備」したと検査機関が判断すれば、取り締まり、処罰の対象にするものであり、犯罪があつて具体的な被害が生じた場合に初めて処罰することを基本原則とする、近代刑法の大原則を覆すものである。それゆえそれは、検査当局の恣意的な判断によって、メール、電話などあらゆるものを監視の対象とする国民監視社会を生む危険をもつものである。こうした危険性が、審議をすればするほど明らかになってきたのが実態である。私たちは、憲法が保障する、思想・良心の自由（19条）、集会・結社・表現の自由、通信の秘密（21条）などに根本から反する「共謀罪」の廃案を引き続き断固求めるものである。

安倍首相は、共謀罪法案強行をごり押ししながら、一方で、2020年までの憲法9条改悪をおしそすめる宣言を行い、自民党全体を強引にその方向でまとめようとする動きを強めている。これが、憲法9条を死文化させ、海外での無制限な武力行使に道を開こうとするものであることは明らかである。かかるアメリカとともに「海外で戦争する国づくり」の策動と、国民監視国家をつくる「共謀罪」強行の動きは一体のものである。

私たちは、この間世論を大きく変えてきた国民の運動に確信を持ち、この法案の危険性を徹底的に広範な人々に知らせ、その廃案をめざす参院段階での闘いに全力をあげる決意を、ここに表明するものである。

◆当面の主な活動予定◆

- ◆ 6月7日(水)「怒りの昼デモ」13時、四高公園横～武藏
- ◆ 6月9日(金)共謀罪ストップ「あつち こつち朝宣伝」(16日も)
- ◆ 6月9日(金)「6・9署名行動」12時半、エムザ前
- ◆ 6月10日(土)「平和委員会全国大会」(11日まで岡山で)
- ◆ 6月11日(日)「国民平和大行進・能登コース」10時、輪島からスタート
- ◆ 6月15日(木)「沖縄連帯街頭宣伝」12時、エムザ前。引き続き、全国一斉「ヒバクシャ国際署名」統一行動
- ◆ 6月17日(土)「平和行進・富山～広島コース」11時半、津幡・九折で引き継ぎ式(24日9時、加賀市役所～県境・吉崎で福井ヘリレー)
- ◆ 6月19日(月)「ピーステント」16時、四高記念公園口
- ◆ 6月21日(水)「怒りの昼デモ」
- ◆ 6月23日(金)「小松爆音訴訟連絡会総会」
- ◆ 7月1日(土)「平和委員会青年研修会」(2日まで秋田で)
- ◆ 7月6日(木)「小松基地爆音訴訟公判」14時半、金沢地裁
- ◆ 7月6日(木)「6・9署名行動」
- ◆ 7月23日(日)「反核おりづる市民のつどい」10時、卯辰山・玉兎ヶ丘
- ◆ 7月29日(土)県革新懇「総会」

仲里衆院議員が 4・28「屈辱の日」に 沖縄県民の民意と民主主義・地方自治を問いかける

県平和委員会と安保破棄石川県実行委員会は4月28日、沖縄4区選出の仲里利信衆議院議員を招き「4・28『屈辱の日』沖縄連帯『講演会』」を開催しました。

会場のITビジネスプラザ武蔵には、関心を寄せる120人が会場に詰めかけ、沖縄の闘いの現状認識を深めました。

仲里氏は、中国やフィリピン、インドネシアなど1300年にわたり、経済・文化交流がある沖縄の歴史から話され、1872年

年の琉球王国廃止、1879年の廃藩置県で今の県に



された。その後、先の大戦に巻き込まれ、戦後は米軍によって占領・統治され、施政権返還後もその状況が続いていると柔らかい口調で語り、「沖縄民謡」を披露して参加者の心を揺さぶりました。

そして、基地あるが故の県民の被害、県政発展の阻害などに触れ、現在強引に進められている辺野古基地建設の問題点をリアルに指摘しました。自身の戦争体験から、今の政権は戦前回帰のことを一つ一つやっている。“戦争は人間を人間でなくする”。共謀罪は治安維持法と同じで、辺野古での闘いもこの法で「捕まる」と語り、「オール沖縄」の教訓から「オールジャパン」の意義を強調されました。

最後に“ぜひ多くの人が辺野古に集まって下さい”と呼びかけました。



県平和委員会総会開く
新事務局長に柴原氏を選出
基礎組織づくりなど活動方針承認

5月20日、「石川県平和委員会第51回総会」を金沢市近江町交流プラザで開催しました。当日は青年憲法集会など各種行事と重なり、若者が出席できませんでしたが、各分野で活躍している会員など18名が出席しました。

この1年、系統的な沖縄支援（15日街頭宣伝、集会、現地支援ツアーア）の取り組み、自衛隊（パレード反対行動）、小松基地関連（爆音訴訟、事故、日米共同訓練）の取り組み、学習会への講師派遣、映画「ザ・おもいやり」上映会、平和ガイド（戦跡、内灘闘争）平和の旅（泊・横浜事件、富山空襲）な

（ウラヘツヅク）